



令和 7 年度 宮城県循環器病対策推進協議会

第 2 期宮城県循環器病対策推進計画

－ 中間評価について －



第2期宮城県循環器病対策推進計画のスケジュール

全体スケジュール（県計画期間：令和6年度～令和11年度の6か年）

	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
県計画	第2期計画						第5期計画
			中間評価			最終評価	次期計画策定



第5章 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価

計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、**3年を目途に中間評価を実施**します。

ロジックモデルで評価

第5章 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価

計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、**3年を目途に中間評価を実施します。**

各分野の施策が、分野別目標及び個別目標の達成に向けて効果をもたらしているか、**ロジックモデルを活用した科学的・総合的な評価を行います。**また、分野別目標及び個別目標の達成状況及び計画の進捗状況の把握に当たって、適切な指標が設定されているか、必要に応じて見直しを行います。

指標を評価する際には、第1期評価を踏襲し、全国値がある指標は、**全国比較及び全国順位踏まえた評価**を行います。

第3 循環器病対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

6. 目標の達成状況の把握

国は、分野別目標及び個別目標の達成状況について、適宜調査を実施しその結果を公表するとともに、本基本計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、**3年を目途に中間評価を行う。**

その際、各分野の取り組むべき施策が、分野別目標及び個別目標の達成に向けて効果をもたらしているか、**ロジックモデルを活用した科学的・総合的な評価を行い**、必要に応じてその結果を施策に反映する。また、分野別目標及び個別目標の達成状況及び計画の進捗状況の把握に当たって、適切な指標が設定されているか、必要に応じて見直しを行うとともに、数値目標の設定についても、引き続き検討を行う。



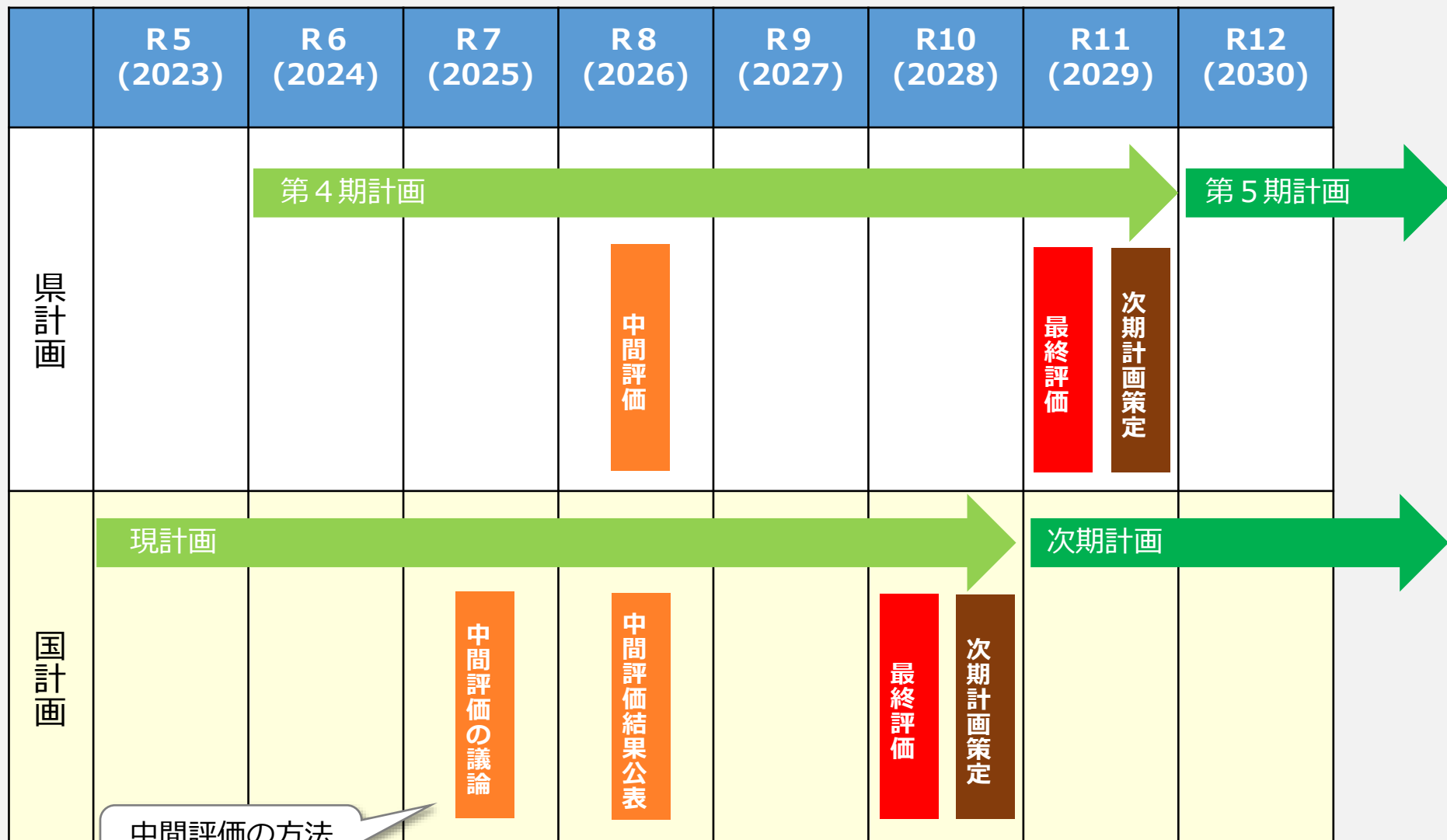
第2期
宮城県循環器病対策推進計画



国の
循環器病対策推進基本計画

県計画と国計画のスケジュール

全体スケジュール（県計画期間：令和6年度～令和11年度の6か年）



中間評価の方法
について検討

第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方

中間評価について、全体目標と個別施策について、以下のとおり分析・評価を進めることとする。
あわせて、都道府県の循環器病対策の進捗状況の公表、好事例の横展開を推進する。

① 全体目標について

- ・ 2040年に向けた健康寿命の延伸の進捗状況の評価（令和6年度中に公表済）
- ・ 2040年に向けた循環器病の男女別の年齢調整死亡率の減少の進捗状況の評価

② 個別施策について

- ・ 第8次医療計画の策定指針等で定めている指標例を基に、①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実、③循環器病の研究推進のそれぞれの項目において、重点的に評価する指標（コア指標）を選定し、メリハリを付けてわかりやすく分析・評価する。
- ・ 各施策に関する関係課室・省庁等の取組状況の把握を行う。

③ 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- ・ 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の評価するため、都道府県ごとに評価可能な指標については、可能な限り測定・公表をしているところ、今後、都道府県の循環器病対策を見える化しながら、地域の実情に応じたより良い取組の横展開を進める。

今後の進め方

- ・ コア指標については、中間評価前（令和7年度夏頃）の協議会で指標案を示し、議論を行うこととする。
- ・ その他、必要な検討課題（「脳卒中・心臓病等総合支援センター」のあり方等）について、個別に議論を行うこととする。

(余 白)

脳卒中に関する指標について

- 血圧に関する指標を採用する場合は、脳卒中に関する指標は全部で32指標となり、うちコア指標（色付）は11指標となる。

	予防・啓発	救護	急性期	回復期	維持期・生活期	再発・重症化予防
ストラクチャー		脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目(*)の観察指標を利用している消防本部数	脳神経内科医師数・ 脳神経外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		脳卒中患者の重症化を予防するためのケアに従事している看護師数
			脳卒中の専用病室を有する病院数・病床数			歯周病専門医が在籍する医療機関数
			脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数			
			脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数			
			脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数			
			理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のそれぞれの人数			
			リハビリテーション科医師数			
			脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数			
プロセス	喫煙率	脳血管疾患により救急搬送された患者数	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	脳卒中患者に対する療養・就労両立支援の実施件数		脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数
	特定健康診査の実施率		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数		脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	
	特定保健指導の実施率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数			
	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数			
	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数			
	特定健診受診者の収縮期血圧130mmHg以上の割合および拡張期血圧80mmHg以上の割合		脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数			
アウトカム		救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	退院患者平均在院日数			
			在宅等生活の場に復帰した患者の割合			
			脳血管疾患の年齢調整死亡率			

(*) 脈不整、共同偏視、半側空間無視（指4本法）、失語（眼鏡/時計の呼称）、顔面麻痺、上肢麻痺 の6項目

心血管疾患に関する指標について

- 血圧に関する指標を採用する場合は、心血管疾患に関する指標は全部で29指標となり、うちコア指標（色付）は8指標となる。

	予防・啓発	救護	急性期	回復期	慢性期	再発・重症化予防
ストラクチャー			循環器内科医師数・ 心臓血管外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		慢性心不全の再発を予防するための ケアに従事している看護師数
			心臓内科系集中治療室（CCU） を有する医療機関数・病床数	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数		歯周病専門医が在籍する 医療機関数
			心臓血管外科手術が実施可能な 医療機関数			
	心大血管リハビリテーション料届出医療機関数					
プロセス	喫煙率	心肺機能停止傷病者全搬送 人員のうち、一般市民による 除細動の実施件数	急性心筋梗塞患者に対する PCI実施率	心血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数		
	特定健康診査の実施率	虚血性心疾患及び大動脈疾患により 救急搬送された患者数	PCIを施行された急性心筋梗塞 患者数のうち、90分以内の 冠動脈再開通割合		心血管疾患における 介護連携指導の実施件数	
	特定保健指導の実施率		虚血性心疾患に対する 心血管外科手術件数	心血管疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数		
	高血圧性疾患患者の 年齢調整外来受療率		大動脈疾患患者に対する 手術件数			
	脂質異常症患者の 年齢調整外来受療率		入院心臓血管リハビリテーションの実施件数			
	特定健診受診者の 収縮期血圧130mmHg以上の割合および 拡張期血圧80mmHg以上の割合			外来心臓血管リハビリテーションの実施件数		
アウトカム		救急要請（覚知）から 救急医療機関への搬送までに 要した平均時間	虚血性心疾患及び心血管疾患の退院患者平均在院日数			
			在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合			
	虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率					

国のコア指標と県の指標（脳血管疾患）

国のコア指標（脳血管疾患）			県の指標	
			番号	備考
1	予防・啓発	喫煙率	C0101	
2		特定検診受診者の収縮期血圧130mmHg以上の割合および拡張期血圧80mmHg以上の割合	なし	※
3	救護	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	B201	
4	急性期	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数	C0704	
5		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数	C0705	
6		脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	B301	
7		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	B302	
8	急性期～ 維持期・生活期	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数	C1301	
9		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	B402	
10	急性期～ 再発・重症化予防	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	A201	
11	予防・啓発～ 再発・重症化予防	脳血管疾患の年齢調整死亡率	A101	

国のコア指標 11項目→ うち県にある指標10項目あり

※ 県の指標にない1項目についても県データを取得できる。

国のコア指標と県の指標（心疾患）

国のコア指標（心疾患）			県の指標	
			番号	備考
1	予防・啓発	喫煙率	C0102	
2		特定検診受診者の収縮期血圧130mmHg以上の割合および拡張期血圧80mmHg以上の割合	なし	※
3	救護	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	B201	
4	急性期	PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合	B301	
5	急性期～回復期	入院心血管リハビリテーションの実施件数	B304	
6	急性期～再発・重症化予防	心大血管リハビリテーション料届出医療機関数	なし	※
7	回復期～再発・重症化予防	外来心血管リハビリテーションの実施件数	B402	
8	予防・啓発～再発・重症化予防	虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率	A101	

国のコア指標 8項目→ うち県にある指標6項目あり

※ 県の指標にない2項目についても県データを取得できる。

中間評価の方向性と今後のスケジュール

中間評価の方向性（県）

国の中間評価の方法（コア指標を用いた評価）を参考に、中間評価を行う。
（全国値や他都道府県との比較も行う）

脳血管疾患：国のコア指標（11項目）を用いて評価
心疾患：国のコア指標（8項目）を用いて評価

今後のスケジュール

	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	
県計画	第2期計画						第3期計画	
			循環器病対策推進協議会 中間評価			最終評価 次期計画策定		

